

Osaka Metro まちさんぽ

八尾南駅

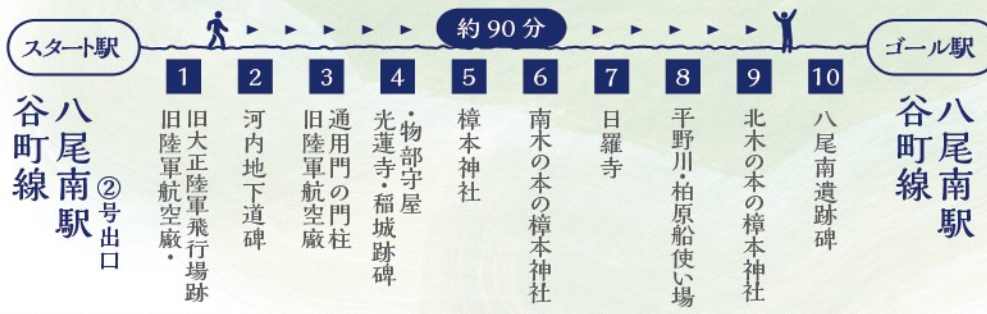
90分
コース

谷町線 八尾南駅

空港と古代史が共存するまち・八尾南

もののべのもりやにちら
物部守屋や日羅の吐息が聞こえます

阪神飛行学校の滑走路が陸軍に接収されて大正陸軍飛行場となり、戦前には京阪神の防空基地として陸軍第11飛行師団がおかれました。飛行場以前には大正村の農地が広がり、古代には物部守屋が聖徳太子に抗戦した戦場でした。



仏教の受容をめぐる蘇我馬子や聖徳太子と対立した物部守屋が、太子の軍隊に追い詰められて命を落とした戦場が稲城です。同時期に、朝鮮半島の情勢を探ろうとした敏達天皇が百濟王に仕えていた日本人高官・日羅を呼び戻して与えた寺が日羅寺です。謎の古代史がここにあります。

新型コロナウイルス 感染拡大防止のために
 ●体調が優れない場合のご参加はお控えください。 ●マスク着用の上、他の方と2m程度距離を空けてご参加ください。
 ●混んでいる時間帯を避け、会話を控えめにしてお楽しみください。

八尾南駅
90分
コース

Osaka Metro まちさんぽ

谷町線 八尾南駅

空港と古代史が共存するまち・八尾南

ものべのもりやにちら 物部守屋や日羅の吐息が聞こえます

阪神飛行学校の滑走路が陸軍に接収されて大正陸軍飛行場となり、戦前には京阪神の防空基地として陸軍第11飛行師団がおかれしました。飛行場以前には大正村の農地が広がり、古代には物部守屋が聖徳太子に抗戦した戦場でした。

スタート駅

約 90 分

ゴール駅

谷町線八尾南駅②号出口

谷町線八尾南駅

1 旧陸軍航空廠 ・旧大正陸軍飛行場跡

いまの八尾空港の前身は旧大正陸軍飛行場で、面積は航空廠(修理・整備工場)を含めると現八尾空港の4倍ありました。八尾南駅改札から1・2号出入口に向かう陸橋はOsaka Metroの八尾車庫の上に架かっていますが、その北側の広い空地は旧陸軍航空廠の駐機場跡です。1・2号出口が設置されている道路は、かつて滑走路から駐機場へ機体を移動する誘導路でした。



2 河内地下道碑 3 旧陸軍航空廠通用門の門柱



大正北小学校正門横に、昭和16年(1941)飛行場の滑走路拡張工事に伴い道路を地下道にした河内地下道跡の碑があります。戦後に飛行場が縮小されたときに地下貯水所として再利用されたそうです。また、旧陸軍航空廠の通用門柱が、「なかよし公園」内に移設保存されています。碑文によると、約2000人が働いて、校区の生徒・児童も動員されたとあります。



4 光蓮寺・稲城跡碑・物部守屋

6世紀頃、大和朝廷で軍事・外交に勢力を維持していた豪族が物部氏で、本拠地は八尾の淡川にあってとされています。物部守屋は仏教の排斥を主張して、蘇我馬子や聖徳太子と激しく争い、守屋はこの地に稲積みの城を築いて攻め寄せる聖徳太子軍に抗戦しました。物部軍は奮戦敵わず、守屋が射殺され、その後物部一族は衰退しました。これを丁末の乱といいます。守屋亡きあと、その館を寺としたのが光蓮寺の起源とされ、場所は変転しましたが15世紀にここに遷ったと伝わっています。蘇我氏と物部氏の崇仏・排仏争いの決着が、ここでつきました。守屋の墓は八尾市太子堂の大聖勝軍寺にあります。



5 樟本神社 6 南木の本の樟本神社 9 北木の本の樟本神社

創建は古墳時代に遡るといわれる古い神社で、そもそも木霊を祭神としていましたが、物部氏の領地になって、物部守屋が自ら崇めていた神々を持ち込んだといわれています。木本村に3座ありましたが、分村してそれぞれが分かれました。旧木本集落内にあるのが木の本樟本神社、北木の本の樟本神社には守屋首を洗ったとされる池があります(大聖勝軍寺にも同じ伝承の池があります)。南木の本の樟本神社の境内には日羅寺があります。



7 日羅寺

日羅は6世紀に大伴金村に従って渡海して、百済王朝の高位についた倭人です。大和朝廷は敏達天皇が任那滅亡後の半島情勢を知るために、日羅の帰国を促して朝廷に迎えました。天皇が日羅のために建立したのが日羅寺です。日羅は天皇に答えて「国を富ませて百済を討つべし」と説いたので、同行していた百済の使臣が憤慨して日羅を暗殺しました。古代の半島外交にあらわれた悲話です。



8 平野川・柏原船使い場

平野川は、大和川の付け替え以前は旧大和川(久宝寺川・長瀬川)から分流して北流していました。柏原から大坂の京橋まで柏原船が運行して作物などを運んでいました。平野川沿いの村で荷の揚げ降ろしをした場所が「使い場」で、北木の本に復元されています。



10 八尾南遺跡碑

八尾南駅は昭和55年(1980)の開業に先立って立地の発掘調査が行われ、古墳時代の集落跡や水田跡、古墳が見つかりました。その後の調査で、旧石器時代から縄文・弥生・古墳時代の遺構・遺物が多く出土し、特に弥生時代後期のムラのようすを示す重要な発見がありました。駅前ロータリーに説明碑があります。



文中の「おおさか」表記には、一般呼称や明治以降については「大阪」、江戸時代以前については「大坂」を使っています。なお、掲載している情報は2021年5月時点のものです。内容は変更されている場合があります。

発行：Osaka Metro

協力：一般社団法人大阪あそ歩委員会 (お問い合わせ先)大阪あそ歩 info@osaka-asobo.jp

後援：歴史街道推進協議会

このコースや他のコースの〈ガイド付きまち歩き〉については、下記の「大阪あそ歩」のホームページをご覧ください。

<http://www.osaka-asobo.jp> または [大阪あそ歩](#) で検索

ご注意

※まち歩きには歩きやすい服装で、足下や車などの往来に十分注意し、事故のないように各自で責任をもって行動してください。

※プライバシーにかかわる場所での写真撮影や大声での談笑はご遠慮ください。

ご案内

※駅スタンプは駅長室内に設置しています。参加記念にぜひ押印してください。

駅スタンプ押印欄

